

小千谷市の「総合的な学習の時間」の取組

小千谷市立千田小学校 校長 曾我茂樹

小千谷市教育委員会が示す「おぢやっ子教育プラン」では「ふるさと学習の推進」が重点の一つとして掲げられている。これに基づき、各校がふるさと小千谷の自然、産業や文化などについて子どもたちに多くの学ぶ機会を設けている。中でも総合的な学習の時間では積極的に地域の題材化に取り組み、総合のねらいに迫る特色ある学習活動を展開している。

1 各校で取り組んでいる主な題材

(1) 地域の歴史や伝統文化を題材にしたもの

「闘牛についての学習（農家に宿泊しての牛飼い体験など）」「地域の歴史調査」など

(2) 地域の自然を題材にしたもの

「地域の森公園を作ろう」「地域の川や沼の自然調査」「地域のホタルの保護」など

(3) 地域の産業を題材にしたもの

「農業を体験する学習（農園訪問、農家への宿泊体験など）」「錦鯉の養殖についての学習」など

(4) 地域の人を題材にしたもの

「地域の偉人・達人に学ぶ」「地域で働く人から学ぶ」など

(5) 地域の福祉を題材にしたもの

「福祉施設訪問」「地域のお年寄りとの交流」など

2 取組みの成果と課題

(1) 成果

各校とも積極的に地域の自然や文化を題材として、多様な課題設定をもとにした学習を展開している。特に次のような点で成果がみられている。

① 日常生活や社会とのかかわりの重視

各校で、身近な地域の自然や文化、歴史などの題材化を丹念に行い、総合的な学習の時間の中で適切に生かしている。これは、子どもが自分の日常生活とのつながりを強く感じ、関心をもって学習に取り組む姿につながっている。また、地域の川や森などをテーマにした学習では、環境を守ろうとする課題意識へと結びつけ、直接身近な社会とのかかわろうとする活動にもつなげている。これらのことが総合的な学習の時間の重要な目標の一つである「主体的に取り組む態度の育成」に大きく寄与していると考えられる。

② 体験活動の重視

多くの学校で体験の場が身近にあり、また自然、文化、産業など多様な体験ができる環境が整っている。そのため、イベントとしての体験ではなく、日常的にかかわる体験活動が可能になっている。このよな環境を生かし、各校で体験活動を重視し中心に据えた総合的な学習の時間の取組が進められている。特に、子どもたちの活動を支援してくれる地域の人的なサポートが手厚く受けられ、それが体験活動の質を高めている。

(2) 課題

小千谷市学校教育研究会の部会に「総合的な学習の時間」の部会がないため、学校間で相互の取組を紹介し合ったり、検討し合ったりする機会がない。今後、交流し合う場を設けることにより各校の実践の一層の充実を図ることができると考える。

また、新指導要領で時間枠が短縮されたことに伴い、各校で指導計画の組みなおしを行っている。その際、これまで蓄積してきた各校の実践の成果が十分に生かされることや、体験活動が薄まらないようにすることなどに留意していきたい。